

●朝刊にニコンがフィルム一眼レフより事実上撤退と出ていました。フィルムカメラは、同社のカメラ事業収入の、すでに3%の由。地方会はまだスライドですが、大きな会はパソコンでの発表しか受け付けなくなってきました。本誌も今年よりEメールでの投稿も可とします。デジタルカメラの性能向上により、写真もプリントしないで、メールに添付で可です。もちろん手書きの原稿も大歓迎です。因に私は手書きです。(木花 光)

●県立こども医療センターは1970年に開設以来36年、私が赴任してから12年、住み慣れた古巣を去り、隣接して建てられた新棟に引っ越しました。1日も休診にすることなく年末年始返上で大移動を敢行し、出勤しなかったのは元旦だけでした。お蔭で我が家の大掃除、お節料理づくり、すべておさぼりしてしまいました。現在、新しいのに機能の悪いコンピュータに振り回されて2割増しとなってしまった診療時間に疲れ気味ですが、窓がなくて暗かった以前の外来に比べて、明るさと景色だけは最高です。(馬場直子)

●神奈川県皮膚科医会に入会させて戴き、横浜へ出かける機会が増えました。小田原で生まれ育った私ですが、大学入学と同時に入寮のため千葉へ移り、退寮後現在まで東京で暮らしているため完全な横浜音痴です。毎回広報委員会が開かれるキャメロットジャパンですら、いつもと違う改札口を出てしまうとすんなりたどり着けません。うろろうしている私を見かけましたら是非声をかけて下さい。きっと道に迷っているのです。(相川洋介)

●昨年末にみずほ証券の誤発注の間隙を縫う形で20億円稼いだ27歳の男性は昨年1年間で計60億円稼いだと言われていますが、なんとフリーターだそうです。小学生に「将来就きたい職業」をアンケートすると近年「漫画家」だの「ゲームクリエイター」だのが出てきて戸惑ってましたが、そのうち「投資家」「証券トレーダー」だのが憧れの職業にランキングされるのでしょうか。悲しいことにどう見ても医業は斜陽です。(宮本秀明)

●私は地区の医師会でも広報委員を任されていますが、広報委員の仕事の一つである原稿依頼は生命保険の勧誘に似ていると、最近思いました。原稿は保険の勧誘と同じで、まず知り合いに頼みます。そして大体の場合、嫌がられます。保険では最初は契約先が見つかりますが段々と減っていきます。原稿の依頼先も同じです。みなさん、原稿を頼まれたら嫌がらずに引き受けてください。(山本 修)

●先日、高校の先輩で経済学者の金子勝氏と話す機会があった。政府の経済財政諮問会議が出した「21世紀ビジョン」とは裏腹に、日本は、このままだと「すべてがゼロの世界」になっていくという。財政難で地方自治体が潰れ、医療も福祉も消防も水道も民営化。若い正社員もいなくなり、安定した生活を送れる人はごく少数。年金も医療保険も介護保険も成り立たなくなる。少子化はますます進行し、2035年には秋田県の幼年人口がゼロになる……。確かな徴候が見えているだけに、ホント暗いなあ。(浅井俊弥)

●鉄道は事故が少ないと思っていましたが、昨年はJR福知山線の事故やJR羽越線の事故のように大惨事の多い1年でした。羽越線の事故は天災かと思いますが安全管理体制が適切だったかが問われていますし、福知山線のはやはり運転ミスではないのでしょうか。他にも食品の産地偽装問題とか耐震強度偽装など、安心、安全がわからない世の中です。やはり一番確かなのは自分で畑を耕して、海に出て天然の魚を捕って、という自給自足生活かな？(川口博史)

神 皮 〈第13号〉

2006年 3月 5日 発行

発 行 神奈川県皮膚科医会

発行人 菅原 信

〒247-0062 鎌倉市山ノ内635

電話 0467-47-8223

制 作 かまくら春秋社

表紙のことは●

現在静岡県三島市在住の78歳の母が50代半ばの頃に製作した刺繍作品で大きさは約1m四方です。母は当時横浜・保土ヶ谷区の自宅で延べ10数人に刺繍を教えていました。お弟子さん達の作品とともに小田原市内で個展を1回催し、同好の士と共同で新宿伊勢丹、横浜高島屋で催した作品展に計4～5回出品しています。他にも作品は幾つかありますが、表紙の刺繍は私が気に入っている作品の1つです。(宮本秀明)